

平成29年度大学リーグやまぐち主催事業・事業計画書(案)

事項及び担当機関				
事業名称	FD研修会(全学FD・SD講演会)			
主催				
担当者	所属・職名:教育支援課教育企画係長 氏名: 篠田 和也			
[連絡先]	TEL: 083-933-5150 FAX:083-933-5225 E-mail: ga115@yamaguchi-u.ac.jp			
共催・後援等 (協力体制)	大学リーグやまぐち			
事業の趣旨・目的等	本年度の全学FD・SD講演会では、大学教育の中でアクティブ・ラーニングが広がっていく中で学生の学修活動や学修成果をどのように評価(パフォーマンス評価やポートフォリオ評価)するか、また、教員のファシリテーションはどのように行うべきか。学生参加型授業でとかく問題となるグループ間学修達成度の格差やフリーライダー、コミュニケーション障害が疑われる学生への対応といった種々の課題に対して具体的にどのように対応するのかについて学内外の有識者から意見を聞く。このために学外の大学の先生方を2名招聘するとともに、学内の関係教員にも加わっていただき、講演やパネルディスカッションを通して解決策や改善策を探る。これにより、「山口と世界」をはじめとする各学部・学科で行われているアクティブラーニングの指導方法や成績方法等について考える。			
事業の内容	講演テーマ:「アクティブラーニングにおける諸問題の解決方法を探るーパフォーマンス評価、教員のファシリテーション、フリーライダー、コミュニケーション障害に対していかに対応するかー」 講 師:京都大学高等教育研究開発センター 松下 佳代 教授 愛媛大学教育企画室 中井 俊樹 教授 日 時:平成29年8月9日(水) 13:30~16:30			
事業実施のための 必要経費	経費項目(積算内訳含む)	員数	単価	金額
	講師謝金(愛媛大学中井教授1名分)	1	14,000	14,000
	講師旅費(愛媛大学中井教授1名分)	1	44,000	44,000
				0
				0
				0
				0
				0
	計			58,000
備考				

事項及び担当機関				
事業名称	大学リーグやまぐちSDセミナー2017(仮)			
主催				
担当者	(所属・職名) 山口大学大学教育機構・准教授 (氏名) 林 透			
[連絡先]	(TEL: 083-933-5067) (E-mail: toru-h@yamaguchi-u.ac.jp)			
共催・後援等 (協力体制)	大学マネジメント研究会、大学行政管理学会中国・四国地区研究会(予定)			
事業の趣旨・目的等	<p>2013年度から実施する山口大学・大学リーグやまぐちSDセミナーは4年続けて盛況であり、山口大学及び山口地域の大学等から毎年度100名を超える参加がある。SDセミナー参加者や大学リーグやまぐち加盟機関からは、大学間連携を通じたSDセミナーを継続的に開催する要望が多数寄せられている。このようなニーズを踏まえながら、2017年度において、更なる充実を図りながら、大学リーグやまぐちSDセミナー2017を企画実施する。</p> <p>2017年度においては、2016年度に新しく結成された大学リーグやまぐち加盟機関の相互交流を図ることを目的に、当該地域の高等教育機関が抱える諸課題を共有し、課題解決のための新たな方策や気付きを得る場づくりに努めたい。大学間連携に経験豊富な専門家を招へいした基調講演を行うほか、大学リーグやまぐち加盟機関によるポスター発表等を通して、各大学共通のテーマやノウハウの共有を図りながら、大学職員の人的ネットワークの充実を図りたい。</p>			
事業の内容	<p>テーマ:「地方大学の魅力発信と大学間連携 ～大学職員への期待～(仮題)」</p> <p>内 容: (1) 大学間連携に経験豊富な専門家を招へいした基調講演 (2) 大学リーグやまぐち加盟機関によるポスター発表等による情報交換・ミニワーク</p> <p>主 催: 大学リーグやまぐち 外(仮)</p> <p>共 催: 大学マネジメント研究会、大学行政管理学会中国・四国地区研究会</p> <p>日 時: 平成29年12月頃開催予定</p>			
事業実施のための 必要経費	経費項目(積算内訳含む)	員数	単価	金額
	講師講演謝金(1名、12,000円/1時間×2時間)	1	12,000	12,000
	講師指導・助言謝金(1名、6,000円/1時間×2時間)	1	6,000	6,000
	講師旅費:山形	1	80,000	80,000
	消耗品(模造紙・マジック・付箋紙・マグネット等)・印刷費	1	40,000	40,000
				0
				0
				0
	計			138,000
備考				

事項及び担当機関	図書館連携(担当:山口大学, 山口県内各大学)			
事業名称	山口県大学ML(ミュージアム・ライブラリー)連携特別展			
主催	山口県大学ML連携事業事務局(担当:山口大学)			
担当者	所属・職名:情報環境部学術情報課副課長/埋蔵文化財資料館 氏名:永久英雄/横山成己			
[連絡先]	TEL:083-933-5192 5035		E-mail: li322@yamaguchi-u.ac.jp	
	FAX:			
共催・後援等(協力体制)	共催:山口県立山口博物館、大学リーグやまぐち、山口県大学図書館協議会 後援:山口県博物館協会、大学博物館等協議会、山口県図書館協会			
事業の趣旨・目的等	<p>山口県大学ML(ミュージアム・ライブラリー)連携事業は、平成23年度から継続して実施している。この事業は、県内各大学が所蔵する学術資料や研究成果を素材とした展示活動を実施することにより、大学のブランディング及び地域への大学の説明責任の一端を果たすもので、大学連携並びに地域貢献事業として位置付けている。</p> <p>開始当初は2大学の事業であったが、平成25年度からは大学コンソーシアムやまぐち加盟大学を中心に参加を呼びかけ、毎年度一定のテーマを定めて特別展を実施している。平成28年度には12大学17館の大学博物館・図書館が参加するまでに至ったが、これは事業の継続性が確立し、大学ばかりでなく地域社会に定着したからである。</p> <p>山口県内大学の博物館・図書館等に所蔵される学術資料、研究成果や大学史等は、各大学の教育・研究理念を反映したものであり、地域の文化遺産とも言える。これらを同時に公開することによって、観覧者は当県の高等教育機関の特色を理解することになり、地域活性化につながる。</p>			
事業の内容	<p>平成29年度山口県大学ML連携事業では、現行体制となり5周年を迎えることや、さらなる参加大学の拡大を図ること、全国でも稀有な当活動をさらに県内外に周知させること等を考慮し、山口県立山口博物館に会場を提供してもらい、初の県内大学所蔵学術資料集合展示を実施する。</p> <p>具体には、共通テーマを「やまぐちの大学 -University College Yamaguchi-」とし、各大学の教育研究を象徴する学術資料や研究成果を公開する。開催期間を平成29年11月25日～12月24日の約1月間とし、会期中にシンポジウムを山口県立山口図書館で開催する。</p>			
事業実施のための必要経費	経費項目(積算内訳含む)	員数	単価	金額
	ポスター作成費	380	119	45,000
	パンフレット作成費	1,640	50	82,000
	パンフレット作成費	860	50	43,000
	会場借り上げ代(山口県立山口図書館)	2	3,115	6,230
	山口県立山口博物館看板作成費	1		77,000
	実施報告書等作成費	1,300	65	84,500
	通信費(ポスター・実施報告書等郵送料等)	1		10,000
	消耗品費等(事務局経費)	1		10,000
				0
				0
				0
	計			357,730
	(うち大学リーグやまぐち負担分)			(127,000)
備考	総事業経費358,000。上記のうち会場借り上げ代(山口県立山口図書館)以下の6項目は別途経費とする。			

事項及び担当機関	県内進学 の促進 （担当: 山口県 県内進学・仕事魅力発信協議会）			
事業名称	「2018山口県進学ガイドブック」及び「2017山口県オープンキャンパスマップ」作成・配布			
主催	山口県 県内進学・仕事魅力発信協議会(担当: 県学事文書課)			
担当者	所属・職名: 県学事文書課 大学班 主査		氏名: 角 昌尚	
[連絡先]	TEL: 083-933-2140		E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp	
	FAX:			
共催・後援等 (協力体制)	構成員: 県私立大学協会、県専修学校各種学校協会、大学リーグやまぐち、県学事文書課、県高校教育課			
事業の趣旨・目的等	若者の県内定着を促進するため、県内高校生の県内大学や専門学校等への進学促進の取組を推進する。			
事業の内容	<p>1 2018山口県進学ガイドブックの作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容: 県内大学、専門学校等を紹介する冊子の作成 ・部数: 16,000部(各公私立高校等に配布) ・時期: 平成30年2月頃 <p>2 2017山口県オープンキャンパスマップの作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容: 県内大学、専門学校等のオープンキャンパス情報が掲載されたマップの配布 ・部数: 16,000部(各公私立高校等に配布) ・時期: 平成29年6月上旬 			
事業実施のための 必要経費	経費項目(積算内訳含む)	員数	単価	金額
	山口県 県内進学・仕事魅力発信協議会負担金 (18機関×24千円)	24,000	18	432,000
	計			432,000
	備考			

2018山口県 県内進学ガイドブック等負担内訳

No.	学校名	大学リーグ	私立大学協会	専各協会	各校負担	県負担	協議会へ
1	山口大学	●					●
2	山口県立大学	●					●
3	山陽小野田市立山口東京理科大学	●					●
4	下関市立大学	●					●
5	水産大学校	●					●
6	徳山大学	●					●
7	放送大学 山口学習センター	●					●
8	山口学芸大学	●					●
9	宇部フロンティア大学	●					●
10	東亜大学	●					●
11	梅光学院大学	●					●
12	至誠館大学	●					●
13	岩国短期大学	●					●
14	山口短期大学	●					●
15	山口芸術短期大学	●					●
16	宇部フロンティア大学短期大学部	●					●
17	下関短期大学	●					●
	山口県	●					●
18	岩国YMC A国際医療福祉専門学校			●			●
19	柳井音楽専門学校			●			●
20	周防大島町立大島看護専門学校				●		●
21	Y I C保育&ビジネス専門学校			●			●
22	周南和裁服装学院			●			●
23	徳山総合ビジネス専門学校			●			●
24	山口県立東部高等産業技術学校・山口県立西部高等産業技術学校					●	○
25	Y I Cキャリアデザイン専門学校			●			●
26	西村服装技術学園			●			●
27	山口県立農業大学校					●	○
28	Y I C看護福祉専門学校			●			●
29	山口コアカレッジ			●			●
30	山口コ・メディカル学院			●			●
31	山口調理製菓専門学校			●			●
32	Y I C公務員専門学校			●			●
33	Y I Cビジネスアート専門学校			●			●
34	Y I Cビューティモード専門学校			●			●
35	宇部文化服装学院			●			●
36	専門学校Y I Cリハビリテーション大学校			●			●
37	下関看護リハビリテーション学校			●			●
38	下関福祉専門学校			●			●
39	下関文化産業専門学校			●			●
40	県立萩看護学校					●	○
	合 計	43.2	0	45.6	2.4	102	193.2

※県負担は、計105万円

事項及び担当機関	県内大学等の魅力発信 (担当: 県学事文書課)			
事業名称	SNSによる県内大学等の魅力発信			
主催	大学リーグやまぐち (担当: 県学事文書課)			
担当者	所属・職名: 県学事文書課 大学班 主査	氏名: 角 昌尚		
[連絡先]	TEL: 083-933-2140	FAX: 083-933-2137	E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp	
共催・後援等 (協力体制)				
事業の趣旨・目的等	若者の県内進学等を促進するため、県内高校生の大学生に対して、SNS等を通じて、県内大学や県内企業等の魅力を発信する。			
事業の内容	<p>原則、県内大学の持ち回り(毎週月曜日に1大学掲載)により、学生のキャンパスライフ(学食、学祭、一押しポイント、学生の悩み等)や県内企業の魅力を紹介する。また、学祭等の情報は、随時、紹介する。</p> <p>① ツイッター 「ツイート」と称される140文字以内の短文の投稿</p> <p>② インスタグラム 無料の画像共有ソフト。デジタル画像を撮影、編集し、インスタグラム等SNSで共有</p> <p>③ LINE@ プッシュ通知や自動返信が可能(月々5, 400円必要(友達上限5千人))</p>			
事業実施のための 必要経費	経費項目(積算内訳含む)	員数	単価	金額
	LINEへの支払い	12月	5,400	65,000
		計		
備考				

事項及び担当機関	学生サークルの交流 (担当: 県学事文書課)			
事業名称	やまぐちぶち盛り上げ隊結成支援事業			
主催	大学リーグやまぐち、NPO法人山口せわやきネットワーク			
担当者	所属・職名: 県学事文書課 大学班 主査		氏名: 角 昌尚	
[連絡先]	TEL: 083-933-2140 FAX: 083-933-2137		E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp	
共催・後援等 (協力体制)	山口県			
事業の趣旨・目的等	<p>地域おこしに関連する学生サークルを活発化することにより、それぞれの分野の県域の活動団体と連携しながら、学生による地域貢献活動を促進する。</p> <p>※ (公財)山口きらめき財団の助成事業を活用する予定</p>			
事業の内容	<p>1 開催日時: 平成29年10月頃 2 場 所: 社会教育施設(国立山口徳地少年自然の家を予定) 3 内 容: 10:00～ 開会 10:05～ 講話「学生サークル活動が、地域をつくり、自分を育てる！」 10:40～ サークル活動紹介(5サークル×3分) 11:00～ 「やまぐちぶち盛り上げ隊」の結成式 12:00～ 昼食 13:00～ 交流 15:30～ 振り返り(サークル活動における取組活性化の発表) 16:00～ 解散</p>			
事業実施のための 必要経費	経費項目(積算内訳含む)	員数	単価	金額
	講師謝金(3名分)	3		50,000
	講師旅費(3名分)	3	3,300	9,900
	印刷製本費(横断幕等)			38,000
	雑費(用紙代)			2,100
	雑費(バス借上げ2台)			200,000
				0
				0
				0
				0
				0
	計			300,000
備考				

県内進学促進の強化について

大学リーグやまぐち等と連携・協働を図りながら、県内大学等がもつ魅力やよさについて、「県内大学魅力発見プログラム」や「県内進学・仕事魅力発信フェア」等を通じて、広く高校生の理解を深め、高校生の県内への進学を一層促進する。
【実施主体：県等】

1 やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業

(1) 県内大学魅力発見プログラム

県内大学の魅力を知るための県内大学生と高校生によるディスカッションや、大学の学習内容・大学生活に関する講話等の実施

[対象校] 県立高校 6校程度 ※ NPO法人に委託予定

(2) 県内大学体験サポート

県内大学のオープンキャンパス・研究室訪問等の参加にかかる経費支援

[対象校] 県立高校 14校程度

(3) 山口県で学ぶ「保育」「看護」セミナー

保育や看護を志す高校生の県内進学・県内就職を促進するため、保育・看護系の学科を設置している県内大学等の合同説明会を実施

[対象] 高校生とその保護者

[開催場所] 県央部

[開催時期] 10月下旬(予定)

2 山口で学び、活躍する人材育成支援事業

(1) 県内進学・仕事魅力発信フェア

高校生が学校体験や仕事紹介などを通じ、将来の進路について考え、進学先や適職を発見するためのイベントの開催を支援

[日時] 平成30年2月15日(木) 予定

[場所] 山口市(県スポーツ文化センターを予定)

[主催] 県内進学・仕事魅力発信フェア実行委員会

(2) 県内進学ガイドブック、オープンキャンパスマップの作成・配布【再掲】

県内の大学、専修学校等の魅力や県内進学を支える制度、各校のオープンキャンパス情報を高校生及び保護者に提供

[部数] それぞれ16,000部

[配布先] 県内全高校、県民局、市町等

[主催] 県内進学・仕事魅力発信協議会

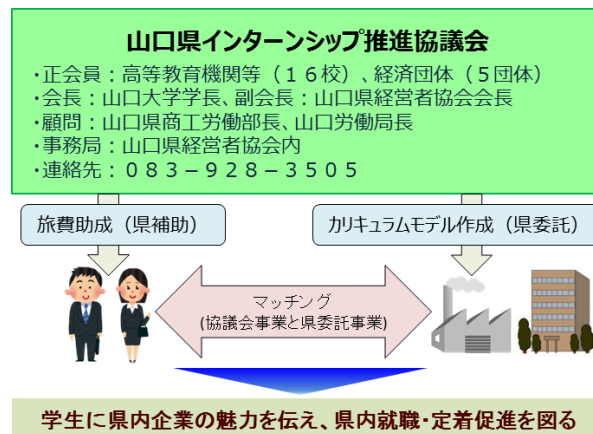
長期間のインターンシップの充実について

長期間のインターンシップの円滑な実施を支援するため、大学のカリキュラムとの調整や企業と大学とのマッチングなどを行う支援員を配置するとともに、参加学生に対する交通費等を助成対象に追加する。

【実施主体：県】

1 これまでのインターンシップ推進の取組

- ・ 県では、山口県インターンシップ推進協議会に委託し、県内でのインターンシップの推進
- ・ 28年度は、インターンシップ実施人数は約900人、受入事業所数は約280事業所と、いずれも過去最高



2 長期間インターンシップ推進の取組

(1) 就業体験支援員の配置による長期体験型インターンシップの推進

大学生の県内就職支援のため、若者就職支援センターに新たに「就業体験支援員」を配置し、長期体験型インターンシップを推進

< 「就業体験支援員」の役割 >

- ・ 長期体験型インターンシップの協力企業と大学とのマッチング
(その他の取組)
 - ・ YFLカリキュラム（やまぐち学等）の普及
 - ・ 体験型フィールドワークへの参加促進
 - ・ 山口きらめき企業の魅力発見フェア等への参加促進 等

(2) インターンシップ参加学生への旅費の助成

インターンシップの参加に係る交通費・宿泊費を助成し、学生の参加を促進（補助率：1/2、上限額：交通費3万円、宿泊費1万2千円）

※助成対象にCOCプラス事業で実施する課題解決型インターンシップを追加

県内企業の魅力紹介について

若者就職支援センターの企業紹介等の機能を活用し、様々なツールによる県内企業の魅力情報の効果的な発信や雇用のミスマッチ解消に向けた若者と県内企業のマッチング支援の強化を図る。 【実施主体：県】

1 県内企業の魅力情報の効果的な発信

(1) 「企業PR動画」の作成

県内のキラリと輝く中小企業等のPR動画を作成し、YouTubeや大手就職情報会社の山口県専用ホームページ等に掲載

(2) 「やまぐち業界マップ」の作成

学生が県内の業界や企業の研究に活用できる、業界別に企業の全体像を示す冊子を作成

(3) 「やまぐち就職ライフデザイン設計書」の作成

山口と東京における職業人生のライフデザイン等を比較したリーフレットを作成

(4) 「県内企業魅力体験レポート」の作成

県内大学生による企業研究・体験をレポートにまとめ、学生等の若者に対して企業の魅力を効果的に発信

(5) 「山口きらめき企業の魅力発見フェア」の開催支援

県内企業等の魅力発信を行う「山口きらめき企業の魅力発見フェア」の開催を支援

2 若者と県内企業のマッチング支援の強化

(1) 保護者向け「子どもの就職ハンドブック」の作成

子どもの就職について親が知っておくべき情報や支援できる内容等を盛り込んだ冊子を作成し、ミスマッチ等による離職を防止

(2) 企業見学バスツアーや学内企業セミナーの開催

就職に影響力を持つ保護者等を対象とした企業見学バスツアーや低学年の大学生等を対象とした企業講師によるセミナーの開催

(3) やまぐち地域就職説明会の開催

企業PR、若者と県内企業との出会いの場の提供

公開講座や出前講座の広報等について

- 各機関で実施している公開講座を取りまとめ、HP等に掲載するなど、幅広く広報する。
- 各機関の教員が小中高に出向き、大学の模擬授業等を開催する出前講座は、各機関の出前講座メニューを取りまとめ、県内小中高に情報提供する。

1 公開講座

(1) HPへの内容

公開講座一覧

〇〇大学

日 時	〇月〇日 (〇) 00:00~00:00	講演名：〇〇〇〇
場 所	〇〇〇〇 住所：〇〇〇〇	内容：〇〇〇〇
問合せ先	〇〇〇〇 TEL：	

日 時	〇月〇日 (〇) 00:00~00:00	講演名：〇〇〇〇
場 所	〇〇〇〇 住所：〇〇〇〇	内容：〇〇〇〇
問合せ先	〇〇〇〇 TEL：	

日 時	〇月〇日 (〇) 00:00~00:00	講演名：〇〇〇〇
場 所	〇〇〇〇 住所：〇〇〇〇	内容：〇〇〇〇
問合せ先	〇〇〇〇 TEL：	

日 時	〇月〇日 (〇) 00:00~00:00	講演名：〇〇〇〇
場 所	〇〇〇〇 住所：〇〇〇〇	内容：〇〇〇〇
問合せ先	〇〇〇〇 TEL：	

(2) スケジュール案

3月上旬 各機関への照会

3月後半 とりまとめ

4月頃 HP掲載

県政記者クラブへの記者配布があれば、随時受付し、配布

2 出前講座

(1) 内容

- 大学・短期大学等の教員が高等学校や小・中学校へ出向き、大学の模擬授業を開催
- 大学リーグやまぐちが出前講座を紹介し、大学が小中高からの希望を受け付け、実施について調整

- 1 対象：山口県内の高等学校、小・中学校
- 2 費用（受講料、講師の交通費）：各機関による
- 3 申請時期：実施希望日の2か月前までに、各機関の問い合わせ先に連絡してください。
- 4 授業時間：基本50分（応相談）

出前講座一覧

〇〇大学				
講座名称	講座の概要	講師名	対象	備考
〇学部				
1 〇〇〇〇	〇〇〇〇	准教授 〇〇〇〇	小中高	PC持参、スクリーン必要 プロジェクター使用
2 〇〇〇〇	〇〇〇〇	教授 〇〇〇〇	高	PC持参、スクリーン必要 プロジェクター使用
〇学部				
1 〇〇〇〇	〇〇〇〇	准教授 〇〇〇〇	中高	プロジェクター使用

● 問い合わせ先 〇〇〇〇 000-000-0000 E-mail 0000@00000000

(2) スケジュール案

- 5月上旬 各機関への照会
- 5月後半 とりまとめ
- 6月頃 県内高等学校、小・中学校にメール送信
HPに掲載

単位互換・共同授業の研究について

- 山口県内の大学・短期大学において、一部大学で協定を締結し、単位互換を実施しているが、活発なものとはなっていない。
- 来年度は、現行の状況・課題を検討し、単位互換の活性化や、PBL (Project Based Learning) 等を踏まえた共同授業の展開について、研究する。

1 単位互換の現状（取組例（HPより））

山口大学	山口県立大学、山口学芸大学、宇部フロンティア大学、放送大学、山口芸術短期大学、宇部高専
山口県立大学	山口大学、山口学芸大学、宇部フロンティア大学、山陽小野田市立山口東京理科大学
下関市内	下関市立大学、梅光学院大学、東亜大学の3大学間
山口学芸大学	山口大学、山口県立大学、山陽小野田市立山口東京理科大学、山口芸術短期大学
徳山大学	放送大学、徳山高専
宇部フロンティア大学	山口大学、山口県立大学、放送大学
山陽小野田市立山口東京理科大学	山口県立大学、山口学芸大学
放送大学	山口大学、徳山大学、宇部フロンティア大学、宇部高専
山口芸術短期大学	山口大学、山口学芸大学
徳山高専	徳山大学

2 共同授業の取組について

複数大学が連携して実施するPBL等の共同授業について、それらへの参加を促進するため、授業の出席扱いとするなどの検討を行う。

（取組例）

- ・ 合同合宿型フィールドワーク
- ・ 課題解決型インターンシップ
- ・ Jobフェア等各種セミナー

3 スケジュール

- 4月 各大学における単位互換・共同授業等の照会
- 5月 現状・課題のとりまとめ
- 夏以降 研究会等を設置し、単位互換・共同授業の活性化の研究
- 10月頃 研究成果のとりまとめ
- 11月頃 シラバスへの反映

明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」について

- 平成30年に迎える「明治150年」に向けて、幅広い分野において、構成機関との連携により取組を進める。
- 平成29年度（又は平成30年度）に、構成機関が取り組む明治150年関連の学生向け講座や一般向け講演会などについて、必要に応じて、大学リーグややまぐちとして後援などを行う。

1 取組の方向性

(1) 県民の意識啓発・機運醸成

様々な分野での改革・近代化と、それを先導した先人たちへの理解の深化、郷土への誇りと愛着心の高揚、県づくりへの参画意識の浸透

【大学生等対象（平成29年度取組）[主催：県等]】

ア 若者「志」ミーティングの開催（案）

- ① 名称 若者「志」ミーティング
- ② 開催時期 7月～9月頃
- ③ 参加者数 50人程度（高校生・大学生等）
- ④ 内容 ・本県出身の企業トップ等による講義、ディスカッション
・プロジェクトの立案、ワークショップ、発表

イ 「2017大学生国際会議 in 山口」の開催（案）

- ① 名称 「2017大学生国際会議 in 山口」
- ② 共催 （一社）KIP知日派国際人育成プログラム
- ③ 開催時期 平成29年5月3日（水）～6日（土）の4日間
- ④ 開催場所 萩市及び山口市
- ⑤ 実施内容 ・討論会
・地場産業訪問・見学学習 ・地域住民との交流
- ⑥ 参加者 大学生 約100人（県外60人、県内40人(留学生を含む)）

(2) 国内外に向けた情報発信・PR

「明治維新胎動の地」である山口県のアピール強化、観光・交流分野の取組推進

(3) 未来を担う人材の育成

ふるさとやまぐちを愛する子どもたちの育成、若者・女性等の活躍促進

(4) 歴史の保存・顕彰・継承

歴史的遺産の保存・顕彰・継承のための取組の実施

2 事業実施期間

平成29年度 ～ 平成30年度